

- ① 現在の工事状況
  - ・基礎スラブのコンクリート打設を全て完了している状況です。
- ② 問題点
  - ・基礎スラブの配筋について、実施計画に記載されています「大型廃棄物保管庫の建屋の工事に係る確認事項」の「構造強度」の内、「据付確認」の確認内容『鉄筋の径、間隔を確認する。』ことを、立会により確認することが出来ない状況にあります。
- ③ 基礎スラブの配筋状況の確認について
  - ・基礎スラブの品質確認検査の立会の一部を、使用前検査（社内）と規制庁殿使用前検査として立会又は記録確認にて確認いただき、立会以外の部分については記録で確認いただくことを事前に調整すべきでした。
- ④ 事業者による確認（検査）の確認状況
  - ・基礎スラブの配筋状況については、品質確認検査として全て立会確認を実施しております。
- ⑤ 事業者による確認（検査）の実施内容
  - ・基礎スラブの配筋の品質確認検査として、「鉄筋径」「間隔」「定着長さ」「継手長さ」「かぶり厚さ」「鉄筋のあき」を確認しており、検査範囲の代表部位の配筋状況を写真撮影しています。

## ⑥ 使用前検査の受検方法とその妥当性

- ・ 上記⑤の 弊社 品質確認検査時に撮影した代表部位の配筋状況写真 及び 工事施工状況を撮影した配筋状況写真をエビデンスとして、記録にて確認いただきたいと考えております。

撮影の際、測量用のスタッフ（検尺棒）を配筋に沿わせ及び鉄筋に刻印されています。鉄筋径を撮影しておりますので、妥当性があると考えております。